

第 11 回大学教育研究セミナー

障がいのある学生への支援のあり方を考える —誰もが安心して学べる環境を皆でつくるために—

大阪市立大学は、障がいのある人々も含めてすべての人の人権を大切にするという姿勢で、これまで教育・研究をしてきました。障がいのある学生への支援についても、各学部・研究科を中心に熱心な取り組みがなされてきたかと思えます。しかしその一方で、全学的な相談窓口の機能がないことなどにより、具体的な支援のノウハウが十分に蓄積されているとはいえない現状もあります。

障がいの有無にかかわらず、全ての人々が安心して学べる環境を、すべての教職員と学生が力を合わせてつくるためには、皆が高い意識を持つことは無論重要ですが、それだけですべての問題が解決するとは限らないかと思えます。支援の知恵と経験を、効果的に蓄積して共有していくためにはどうすればよいのか、第 11 回大学教育研究セミナーで議論したいと思えます。

今回は、京都大学の障害学生支援室で支援コーディネートを担当しておられる村田淳さんにお越しいただき、京都大学での障がいのある学生への支援のあり方についてお話しいただきます。総合大学における障がいのある学生への支援のあり方について、私たちが考える上で参考になるお話を聞かせていただけるかと思えます。皆様ふるってご参加ください。

第 11 回 大学教育研究セミナー

日時：2011 年 6 月 3 日（金） 10 時 40 分から 12 時 10 分

場所：学術情報総合センター 1 階文化交流室

講演：村田淳（京都大学障害学生支援室）

タイトル：「障がいのある学生を支援するためのネットワークづくり」

* 村田淳氏のプロフィール

障害学生支援コーディネーター。佛教大学社会学部社会福祉学科卒業後、大学以外での勤務を経て、2007 年より現職。京都大学重点アクションプラン 2006～2009 の学生支援事業「身体障害学生支援強化事業」により、障害学生支援を専任とする非常勤職員（現在は特定職員）として雇用され、同大学の身体障害学生相談室（当時）の立ち上げと障害学生支援体制の構築に従事。基盤になる支援の構築に加え、新たな視点でのバリアフリーマップの制作や発達障害のある学生への修学支援を実施するなど、現場で様々な取り組みを行う一方、障害学生支援に関する各種講演や執筆を行う。2010 年より関西障害学生支援担当者懇談会世話人委員。

主催：大阪市立大学大学教育研究センター

共催：大阪市立大学人権問題委員会